

日本の学会誌に見られる 分野別研究形態と学習文化（その2）

—研究誌の投稿規定について—

中井 睦美

1. はじめに

近年、日本の学会は著しく変化してきており、従来の専門分野にこだわらない学際的な学問分野が増加し、理系・文系といった学問分野の枠では分類できない研究・学習分野が増加している。それにつられて、研究形態も多様化してきており、必然的に一般的な論文の形態も変化してきている。筆者は学習文化の変化が論文形態に端的にあらわれると推定し、インターネット上で公開されている各学会誌の目次から、著者数やページ数などを読み取り、実験系・データ採取系か、理論系かによって、著者数やページ数は変化していることを明らかにした（中井、2002）。また、従来の文系・理系といった学術分野によって分類できない学際的分野が増加していることについても言及した（中井、2002）。

本研究では、同じくインターネット上で公開されている各学会誌の投稿規定から、とくに新しい学際的分野の学習形態がどのようになっているかについて調査し、日本の学術研究全体がどういった変化をしているかについて解析を試みた。

2. 調査方法

中井(2002)は、学術会議のホームページから学会リストをさがし、インターネット上で目次まで公開している学会に限って調査をおこなった。それと同様に、今回は、文部科学省の情報研究所のホームページに登録されている学協会のうち、ホームページで直接投稿規定が読める学会を選択し、さらに

県名や地方名がついた地域的な学会や、営利性の強い学会や、研究グループとしての性格の強いものをのぞいた。さらにそれらの学会のデータから、ランダムに50数件の雑誌を選んだ。その上で、それらの投稿規定から、どのような形式で論文投稿をするのか（原稿用紙、ワープロ書き、フロッピーやCD-ROM、Tex）、ページ制限はあるのか、英文か和文かあるいは双方混在か、または英文・和文両方の雑誌を持っているか、オンライン出版があるのか、共著規定があるのか、図表に関する指定があるのか、査読体制があるのか、キーワードを提出するのか、ホームページの文献の書き方指定があるのかなどについて調査をおこなった。

また、これらの学会について、理系（医歯薬科系、家政系、農学獣医系、情報系を含む）、文系（社会系、法経済系、心理系を含む）、どちらにも属さない学際的な分野や芸術系を中間系とした。

3. 調査結果

ホームページの投稿規定から調べた結果を表1に示す。

分野の欄の文は文系、理は理系、中は中間系である。提出形式の欄のA4wはA4サイズワープロ書き指定、fはフロッピーディスクなどのデジタル原稿提出指定、onlineはオンライン雑誌があること、TexはTexでの原稿を提出指定である。ワープロ指定は、ほとんどがテキスト指定であるがMS-word、ページメーカーなどのワープロソフトなど指定も多い。たまに一太郎でもよいという指定がある。

表 1 日本の学協会の投稿規定の特徴

学会名	主要雑誌名	分類	原稿体裁	ページ数(字数)	図写真	審査	英文・和文	註	H P 文献	共著説明	著作権規定	キーワード
応用物理学会	JJAP	理	A4w・f・online		あり	あり	英			あり	あり	あり
火薬学会	火薬学会誌	理	A4w・f		あり	あり	和・英			あり	あり	あり
クロマトグラフィー科学会	CHROMATOGRAPHY	理	A4w・f・online		あり	あり	和・英			あり	あり	あり
軽金属学会	軽金属	理	A4w・f	7	あり	あり	和・英			あり	あり	あり
計測自動制御学会	計測と制御	理	A4w・f・Tex/PageMaker		あり	あり	英			あり	あり	
原子衝突研究協会	Atomic Collision Research in Japan	理	A4w・f・Tex		あり	あり	和 (英要旨)			あり	あり	
構造地質研究会	構造地質	理	A4w・f	16	あり	あり	和 (英要旨)			あり	あり	
高分子学会	高分子論文集	理	A4w・f	(600*32)	あり	あり	和・英 (別誌)			あり	あり	
材料技術研究会	材料技術	理	A4w	8	あり	あり	和・英			あり	あり	
砂防学会	砂防学会誌	理	A4w	8	あり	あり	和・英			あり	あり	
資源処理学会	資源処理技術	理	A4w	6	あり	あり	和・英 (別誌)			あり	あり	
資源地質学会	資源地質	理	A4w・f		あり	あり	和・英 (別誌)			あり	あり	
地盤工学会	土と基礎	理	A4w・f		あり	あり	和 (英要旨)			あり	あり	
耳鼻咽喉科情報処理研究会	耳鼻咽喉科情報処理研究会論文集	理	A4w・f		あり	あり	和 (英要旨)			あり	あり	
精密工学会	精密工学会	理	A4w・f	5	あり	あり	和 (英要旨)			あり	あり	
大気環境学会	大気環境学会	理	A4w・f	7	あり	あり	和・英			あり	あり	あり
地学団体研究会	地球科学	理	A4w・f	16	あり	あり	和・英			あり	あり	あり
地球電磁気・地球惑星圏学会	EPS	理	A5w・f		あり	あり	英			あり	あり	あり
アメリカ学会	アメリカ研究	文	A4w・f	19	あり	あり	和・英 (別誌)	あり	あり	なし		
環境経済・政策学会	環境経済・政策学会和文年報	文	A4w・f	-12000	あり	あり	和・英 (別誌)		あり	あり		
環境社会学	環境社会学研究	文	A4w・f	14	あり	あり	和・英	あり				
教育思想史学会	教育思想史学会誌	文	A4w・f	-20000	あり	あり	和					
漁業経済学会	漁業経済学会誌	文	指定原稿用紙・A4w	(400*50)	あり	あり	和 (英要旨)			あり		
記録管理学会	レコード・マネージメント	文	A4w・f	-30000	あり	あり	和			あり		
軍事史学会	軍事史学	文	A4w・f	-16000	あり	あり	和			あり		
経済学教育学会	経済学教育	文	A4w・f	(200*70)	あり	あり	和					
経済地理学会	経済地理学年報	文	A4w・f	17	あり	あり	和 (英要旨)	あり				あり
経済統計学会	統計学	文	A4w・f	15	あり	あり	和・英			あり		あり

* A4w : A4 サイズワイド書き指定、 f : フロッピーディスクなどデジタル原稿提出指定
Tex : Tex (テフ) 指定、 online : オンライン公開の雑誌あり

学会名	主要雑誌名	分類	原稿体裁	ページ数(字数)	写真	審査	英文・和文	註	HP文献	共著説明	著作権規定	キーワード
経済理論学会	経済理論学会年報	文	A4w・f	16	あり	あり	和			あり		
現代史研究会	現代史研究	文	A4w・f	(400*50)						あり	あり	あり
交通史研究会	交通史研究	文	A4w・f	(400*50)							あり	あり
国語学会	国語学	文	A4w	12	あり	あり	和		あり	あり	あり	あり
史学会	史学雑誌	文	A4w・f	(400*80)	あり	あり	和				あり	あり
人文地理学会	人文地理	文	A4w・f	12	あり	あり	和				あり	あり
心理学評論刊行会	心理学評論	文	A4w・f	6	あり	あり	和			あり	あり	あり
全日本鍼灸学会	全日本鍼灸学会雑誌	文	A4w・f	6	あり	あり	和		あり	あり	あり	あり
安全工学協会	安全工学	中	指定原稿用紙	14	あり	あり	和				あり	あり
意匠学会	デザイン理論	中	原・A4w・f	12	あり	あり	和				あり	あり
オフィスオートメーション学会	オフィスオートメーション	中		8	あり	あり	英	あり		1名		あり
開発技術学会	開発技術	中		(400*50)	あり	あり	英	あり				あり
海洋音響学会	海洋音響学会誌	中	A4w・f	6	あり	あり	和・英			あり	あり	あり
可視化情報学会	可視化情報学会論文集	中	A4w・f・online	6	あり	あり	和・英			あり	あり	あり
画像電子学会	画像電子学会学会誌	中	A4w・f・online	8	あり	あり	和・英			あり	あり	あり
形の科学学会	形の科学学会誌	中	A4w・f	4	あり	あり	和・英					あり
環境科学学会	環境科学学会誌	中	A4w・f	12	あり	あり	和・英					あり
看護図書館協議会	看護と情報	中	指定原稿用紙・f	9	あり	あり	和・英	あり	あり	あり	あり	あり
研究技術計画学会	研究技術計画	中		(400*50)	あり	あり	和・英	あり			あり	あり
システム農学会	システム農学	中	A4w・f	8	あり	あり	和・英			あり		
社会思想史学会	社会思想史研究	中	A4w・f	8	あり	あり	和					
情報文化学会	情報文化学会誌	中	A4w・f	8	あり	あり	和			あり		
情報メディア研究会	情報メディア研究	中	A4w・f・online	8			和			あり	あり	あり
人工知能学会	人工知能学会誌	中	A4w・f・online・Tex	8			和			あり	あり	あり
森林立地学会	森林立地	中	A4w・f	10	あり	あり	和			あり	あり	あり
数学教育学会	数学教育学会誌	中	A4w・f	10	あり	あり	和			あり	あり	あり
数理社会科学会	数理社会科学	中	A4w・f	12	あり	あり	和			あり		あり

*A4w: A4 サイズワープ書き指定、f: フロッピーディスクなどデジタル原稿提出指定
Tex: Tex (テフ) 指定、online: オンライン公開の雑誌あり

今回の調査結果では、中間系が多くなっているのが特徴である。これらの学会のほとんどが、最近設立されたものである。これらの学会は、原稿でもワープロでも色々な形態で投稿できるという特徴がある。また、どの学会でもワープロフロッピー提出が普通になってきている。同時にキーワード指定が増加している。Tex 指定があるのは、数式を多くつかう分野である。昨年にはほとんど見られなかったホームページの URL 指定のある文献の書き方や、ホームページは文献にはしていけないという雑誌もあった。

もちろんこういった調査では、文系、とくに文学系の学会のデータがはいりにくいという現状がある。中井(2002)でもこれらホームページを中心の調査では、文系のデジタル化をする習慣のない学会のデータがとれない問題が指摘されている。しかし、学生の文献調査のほとんどがキーワード検索になっている現在、ホームページの作成や、論文検索のできない雑誌は、引用されにくくなることを考えると、今後、文学系の学会のホームページも増加すると考えられる。

4. 考察

理系と文系では、投稿規定にもハッキリと差が出てきている。理系は、制限ページ数が少なく、図もデジタル指定があり、さらに Tex を使用するところやオンライン雑誌、英文のみの雑誌を出す学会も多い。また、和文雑誌でもかならず英文の要旨が指定されており、図表のキャプションも英文指定がある。また、数学などをのぞき、ほとんど共著を前提としており、査読体制も確立している。この背景には、雑誌の科学研究費が、理系学会の場合は、英文雑誌にしか配付されないこと、理系の場合、査読つき論文以外は、業績にならないことなどがあげられる。さらに、共著が多いのは、ビッグプロジェクトの研究にもっとも研究費が配分されるため、理系の研究体制が、大学院生の研究も含めて、大型プロジェクト化する傾向にあり、ポスドクの就職についてもプロジェクトに参加していることが有利であり、共同研究があること、つまり共著の論文があることが、研究能力の一つと見られることもあ

るためである。

一方、文系学会の雑誌に共著の指定が少ないのは、共著そのものが少ないということがあげられる。また、註を付記する習慣があり、その反面図表指定がなく、図表をいれる習慣があまりないことがわかる。これらの点が理系とかなりことなる。

前者2つに比較して、新分野が多い中間型は、文系により近い分野には註の習慣があるものの、ほとんどの学会で共著が普通になり、図表の指定もある。すなわち文・理系双方の要素をもっているというだけでなく、新分野や学際的な分野では、従来の確立した研究方法だけでは研究が進まないことが予想され、そのため、複数の研究者が研究分担をおこなう共同研究がより増加している可能性がある

5. まとめ

学術雑誌の投稿規定は、学問分野の研究・学習方法と密接な関係があり、投稿規定の分析を行うことによって、学問分野ごとの研究方法についての分析を行うことができる。ここ十数年に多く設立されてきた新傾向の総合的学際的学問分野では、理系・文系の研究手法をこえた双方の研究手法が使用されていることが、投稿規定にもあらわれている。今後、これらの投稿規定のさらに細かい分析を行うことによって、日本の学界における研究方法の発展と現状について、より詳細な分析を行える可能性がある。

文 献

中井睦美(2002) 日本の学会誌に見られる分野別研究形態と学習文化(その1)―著者数とページ数からみた特徴― 大東文化大学「人文科学」、人文科学研究所紀要、7, 115-126.

URL(学協会)

国立情報学研究所ホームページ	http://wwwsoc.nii.ac.jp/
アメリカ学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jaas/index.html
安全工学協会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsse3/index.html
意匠学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsd2/bulletin/
応用物理学会	http://www.jsap.or.jp/
オフィスオートメーション学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/oa/
開発技術学会	http://www1.newweb.ne.jp/wb/ides/
海洋音響学会	http://www.masj.jp/
可視化情報学会	http://www.vsj.or.jp/
画像電子学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/iieej/index.html
形の科学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/form/genkou.html
火薬学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jes/mag/jmlrule.html
環境科学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/sesj/toukoukitei.htm
環境経済・政策学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/seeps/taikai02/toukou.html
環境社会学	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jses3/index.html
看護図書館協議会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/kantokyo/kaisi2.html
教育思想史学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/hets/kitei.html#%93%8A%8De%97v%97%CC
漁業経済学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsfe/index.html
記録管理学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/rmsj/katsudo/kaishi/kitei.html
クロマトグラフィー科学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/scs/journal/Guide-J.pdf
軍事史学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/mhsj/kikanshi.htm
軽金属学会	http://www.jilm.or.jp/
経済学教育学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/ecoedu/gakkaishi.htm
経済地理学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jaeg/index.html
経済統計学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/ses/index.html
経済理論学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jspe/bulletin.html#kitei
計測自動制御学会	http://www.sice.or.jp/index.html
研究技術計画学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jssprm/index.html
原子衝突研究協会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/acr/index.html
現代史研究会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/ssmh/publication/apply.htm
構造地質研究会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/trgjp/journals/TRG_instruction.html
交通史研究会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jstc/index.html
高分子学会	http://www.spsj.or.jp/c5/koron/rtoukou-j.htm
国語学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jpling/tokokitei.html#syosiki

国際生命情報科学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/islis/index-j.html
材料技術研究協会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jrimt/toukou.html
砂防学会	http://www.jsece.or.jp/publish/indexj.html
史学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/hsj/index.html
資源処理学会	http://www.nacos.com/rpsj/030101.html
資源地質学会	http://www.kt.rim.or.jp/~srg/
システム農学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jass/article.html#%93%8A%8De%8BK%92%E8
地盤工学会	http://www.jiban.or.jp/
耳鼻咽喉科情報処理研究会	http://member.nifty.ne.jp/entis-j/work/journal/notice.html#toukukitei
社会思想史学会	http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~jshst/
情報文化学会	http://anny.kinjo-u.ac.jp/~jics/Pages/journal.html#introduction
情報メディア学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsims/pub.htm
人工知能学会	http://www.ai-gakkai.or.jp/jsai/index.html#PUBLISH
人文地理学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/hgeog/mokuji.html#kitei
心理学評論刊行会	http://www.psy.bun.kyoto-u.ac.jp/hyoron/
森林立地学会	http://ritchi.ac.affrc.go.jp/index.html
数学教育学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/mes/index.shtml
数理社会学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jams/japan/kitei20.html#shippitsuyoko
精密工学会	http://www.jspe.or.jp/gakkaishi/index_gakkaishi.html
全日本鍼灸学会	http://www.jsam.or.jp/
大気環境学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/aos/OSmagazine/index.html
地学団体研究会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/agcj/index.html
地球電磁気・地球惑星圏学会	http://www.kurasc.kyoto-u.ac.jp/sgepss/index.html